

令和2年度 第2回 大阪市立加島小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立加島小学校

校園長名 西岡 貴史

日 時	令和2年11月		
場 所	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文書による協議とした。		
文 書 送 付	委員など	宮原智子(会長)、武田真実子(委員)、田中 守(委員)、福浦 恵(委員) 前田治雄(委員)、福場弥生(委員)、大原千成(委員)、坂本秀美(委員)	
	校園	西岡貴史(校長)、篠崎昌美(教頭)、吉松智昭(教務主任)、住藤泰司(人権教育主担)	
	区役所		
議題		① 令和2年度「運営に関する計画」中間評価について ② 学校の現状について	※資料と意見記入カードを各委員に送付、返送いただき、第2回の協議とした。
意見要旨	協議の結果		意見の概要
	①	承認される。	<ul style="list-style-type: none">休校やコロナ感染拡大防止対策などで、当初の年度目標を達成することが難しいこともあると思うが、感染予防対策を講じながら、できる範囲で取組を進めることができている。コロナ禍で中止になっていることが多いため、中間評価が低くなっていると思われた。ただ、コロナ禍の影響による変更なのか、そうでないのか検証が必要。 ⇒直接影響を受けたものもあれば、児童の体力面を考えて実施しなかったものもある。最終評価に向けて検証を進め、整理していく。今年度は全てにおいて計画通りにはいかない状況だが、その中でやれることをやる努力が見えた。学力テストが実施されなかつたため数値としてはわからないが、授業内容も工夫されていると感じた。読書について、年々減っているようだが、休校などの期間を読書に充てられなかつたことは残念である。 ⇒朝の読書タイムを充実させるとともに、学校図書館補助員や図書委員会と連携して読書環境をさらに整備し、読書習慣の定着を図っていきたい。

		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが学校生活を楽しいと感じているのは、学校がコロナ対策をしながら行事などを行ってくれているからだと思う。学力向上にも力を入れてくれているのもわかった。 ・「自分を大切にし、周りの人も大切にすることができる」は、とてもいい目標だと思う。このことが、保護者や児童全員に浸透すれば、大変すばらしいことだと思う。 <p>⇒今後も学校教育目標を念頭に置き、一人一人の児童の実態に柔軟に対応しながら丁寧な教育活動を行っていきたい。</p> <p>② 学校の現状（取組）について概ね理解を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで学校の様子がよくわかる。継続をお願いしたい。 ⇒引き続き子どもたちの様子や学校の取組をできる限りタイムリーに発信していく。 ・Teams が不登校児童とのツールにならないものか。 ⇒今後、年度内に一人一台の学習者用端末が整備されていく。効果的な活用に向けて、今後も教職員の研修を行っていく。 ・小学校時代は、人間形成の大切な時期である。こんな時だからこそ、みんなで力を合わせて、がんばれる子どもに育ててほしい。 ・色々な自粛の期間が、「失われた期間」にならないよう、いっそう前向きで明るい毎日を子どもたちに見てもらいたい。 ・学校規模・児童数にもよるが、他校にくらべ、再開していることが少ないように感じる。しかしその中で形を変えて行事等が実施されていることに努力を感じる。 ・今後はインフルエンザなどへの感染にも気を付け、当初目標を一つでも多く達成できるよう、PTAで協力できることがあれば教えてほしい。 <p>⇒今後も保護者の皆様や地域の方々にご協力をいただきながら、必要な感染予防対策を講じ、可能な限り各種行事等の教育活動を継続し、子どもたちの健やかな学びを保障していきたい。</p>
協議資料		<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度「運営に関する計画」中間評価 ・アンケート（学校関係者中間評価） ・学校の現状について ・区役所配布資料（学校協議会新任委員用資料）
備考		傍聴者[]名